

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 農産園芸課長 森上 浩平 電話番号 0852-22-5123

事務事業の名称	地域農業経営確立支援事業	
目的	(1) 対象	農業者等
	(2) 意図	効率的かつ安定的な農業経営の育成を支援する。
事業概要	効率的かつ安定的な農業経営体の育成のため、国庫事業等により経営拡大などを実施した地区（農業者）に対し、経営指導などのコンサルティングを実施する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 経営目標達成経営体割合	目標値		0.0	33.3	33.3	66.6	%
		取組目標値						
	式・定義 経営目標達成経営体数/指導対象経営体数（3経営体）	実績値	0.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	3,498	2,293
うち一般財源 (千円)	3,498	2,293

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

3地区の農業経営体の経営改善指導を外部コンタクター（指導者）に委嘱している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

前年度まで指導を行った2地区すべてについて、経営改善目標を達成し、経営の安定化を図ることができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」  
新たに3地区の経営改善目標の達成が必要
- ②困っている状況が発生している「原因」  
新規就農や新規事業実施により経営が不安定であり、長期的な改善指導が必要である。
- ③原因を解消するための「課題」  
各経営体の経営状況を客観的に把握し、経営改善を行うコンタクターによる経営指導を継続的、かつ、計画的に実施する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

各地域の事情に精通したコンタクターにコンサルティング業務を委嘱することで、各経営体の現状を客観的に分析し、計画的な経営指導を実施することで、経営目標の達成を支援する。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。  
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）